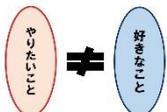


自己分析①（本当の自分を知る）

通番	区分	テーマ	ねらい・概要	スライド	使用教材
	I		課題を見つけるためには、自分の立ち位置や自分というものを分析・把握することが肝要である。これまでこのような観点から自分を見つめ直したことがない生徒も多い。グループでの活動を通して自分を俯瞰する機会とする		
時間	スライド	ファシリテーション・生徒の活動・留意点など			
10分	<p>自己分析 自分を突き動かす 本物の動機を知る</p> <p>本物の動機を知ると 勉強 仕事 人生が有意義になる 苦しくても「楽しい」 HARD FUN</p>  <p>過去 60歳 → 大学 企業 老後 70歳 → やりたいことがあるとないが、面白い</p> <p>現在 大学 企業 企業 企業 起業 起業 起業</p> <p>創造力 新しい見つけ 新しい解決する力 問題を 解決する力 内発的動機</p> <p>若い時は、経験が少なく分かりづらい 手掛かりを見つけるためには 時間をかけ、じっくり自己分析が必要 「楽しく好き」の次に隠れている「芽」にも 光を当てよう！</p> <p>やりたいことが分からない</p> 	<p>課題設定 自分の問いを見つけるためには、まず「自分」についてよく知ることが必須になる</p> <p>本当に自分がやりたいことが分かると、自分全体を突き動かす真の動機として「エンジンの役割」を果たす</p> <p>「つらくても楽しい」 = 「hard and fun」</p> <p>現在の社会を生きるために、時代の変化を考えてみよう</p> <p>戦後日本が歩んできた社会 どこかに目指すべき「お手本」があってみんなが共通する「目標」が見えていた時代 「良い大学」「良い会社」「良い家庭」単線的な流れ</p> <p>今の仕組みで、環境問題や格差問題は解決できていない</p> <p>多様な価値観、全ての人が認める絶対的な「正しさ」が存在するか</p> <p>本校で重要視している「資質・能力」である「創造力」についてその構造や定義を説明</p> <p>課題は自分の今いる立ち位置と在りたい自分、在りたい社会のギャップ そのため、課題設定の基礎として「自己」を知るところから始まる</p> <p>やりたいことと好きなことは同じではない</p>			
20分					

